

計画事業番号	00407	事務事業名	動物衛生等管理事業	担当部署	市民環境部環境課	電話	4112
--------	-------	-------	-----------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	狂犬病予防法、北広島市畜犬取締及び野犬掃とう条例			
事務事業開始年度	昭和34年度		個別計画等	該当なし			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境につつまれた安全なまち	
	(第 1 節) 環境の保全	
	(施策 5) 環境衛生の充実	
2 対象	市民のほか、畜犬及び野犬、愛がん動物	
3 目的と内容	狂犬病の蔓延防止など公共衛生の向上を図るとともに、動物・害虫などから市民の安全な生活を確保するため、畜犬の管理や野犬の掃討、狂犬病予防の推進、スズメバチ等の駆除などを実施する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	○畜犬の登録・管理 ○狂犬病予防の推進 ○畜犬の適正な飼育・管理指導 ○迷い犬等の保護 ○野犬の掃討 ○死骸動物の回収 ○スズメバチ等の巣の駆除支援
	29年度	昨年と同様、下記の事業を実施する。 ○畜犬の登録・管理 ○狂犬病予防の推進 ○畜犬の適正な飼育・管理指導 ○迷い犬等の保護 ○野犬の掃討 ○死骸動物の回収 ○スズメバチ等の巣の駆除支援

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
畜犬の登録・管理 狂犬病予防の推進 畜犬の適正な飼育・管理指導 迷い犬等の保護 野犬の掃討 死骸動物の回収 スズメバチ等の巣の駆除支援	畜犬登録件数(新規)150頭 狂犬病予防集合注射 326頭 迷い犬等の保護 11件 野犬掃討数 2件 死骸動物回収数 29件 ハチ駆除支援数 142件	畜犬の登録・管理 狂犬病予防の推進 畜犬の適正な飼育・管理指導 迷い犬等の保護 野犬の掃討 死骸動物の回収 スズメバチ等の巣の駆除支援	畜犬の登録・管理 狂犬病予防の推進 畜犬の適正な飼育・管理指導 迷い犬等の保護 野犬の掃討 死骸動物の回収 スズメバチ等の巣の駆除支援	畜犬の登録・管理 狂犬病予防の推進 畜犬の適正な飼育・管理指導 迷い犬等の保護 野犬の掃討 死骸動物の回収 スズメバチ等の巣の駆除支援	畜犬の登録・管理 狂犬病予防の推進 畜犬の適正な飼育・管理指導 迷い犬等の保護 野犬の掃討 死骸動物の回収 スズメバチ等の巣の駆除支援	畜犬の登録・管理 狂犬病予防の推進 畜犬の適正な飼育・管理指導 迷い犬等の保護 野犬の掃討 死骸動物の回収 スズメバチ等の巣の駆除支援	畜犬の登録・管理 狂犬病予防の推進 畜犬の適正な飼育・管理指導 迷い犬等の保護 野犬の掃討 死骸動物の回収 スズメバチ等の巣の駆除支援

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	畜犬及び野犬による事故の未然防止、狂犬病予防、スズメバチ等の駆除により、市民の安全な生活を確保するため、今後も継続して実施していく必要がある。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			2,988		3,928		3,793		3,793	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	1,779		2,105		2,125		2,125	
		一般財源	1,209		1,823		1,668		1,668	
	① 合計	2,988		3,928		3,793		3,793		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	5,880	0	5,880	0	5,880	0	5,880	0	
総事業費①+④			8,868		9,808		9,673		9,673	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 畜犬登録頭数	目標値	頭	4,100	4,100	4,100	4,100
		実績値		3,879			
	② 狂犬病予防注射接種頭数	目標値	頭	4,100	4,100	4,100	4,100
		実績値		2,592			
③ 動物等衛生管理件数(犬の保護や野犬掃討、死骸処理の件数)	目標値	件	70	70	70	70	
	実績値		42				
④ スズメバチ等駆除支援件数	目標値	件	250	250	250	250	
	実績値		142				
成果指標	① 狂犬病予防注射接種率	目標値	%	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値		66.8			
	② 犬の咬傷事故の件数	目標値	件	0	0	0	0
		実績値		1			
	③ ハチによる死亡事故等の件数	目標値	件	0	0	0	0
		実績値		0			

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	狂犬病予防法等に基づく予防注射の接種、畜犬の登録であり、公衆衛生上必要な事業である。また、スズメバチ等の駆除も含めて、市民の安全の確保を目的としていることから妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	狂犬病予防注射の接種率は十分ではないが、動物等衛生管理件数は減っており、危険回避の成果はあがっている。また、天候などにより発生件数は増減するが、スズメバチの駆除により、事故の未然防止が図られている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	平成27年度より効率的運用を目指して事業を統合し、専門業者による委託を実施していることから、より迅速な対応等が可能となり、より一層事故の未然防止の効果が期待できる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	効率的運用を目指した事業の統合や、専門業者による委託を実施した結果、概ねコスト削減等が図られている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	---	------------------------------------

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--	--